

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

ニュースレター「第19号」をお届けします。今年1月末の発行から4か月、当NPOはひたすら雑木林の間伐と材の藪だし、運搬、丸太のカット、薪割り、薪積み専念しました。重機を持たない素人集団が、放置された林の手入れをして薪という有効利用製品にたどり着くのは実は大変な道のりで、「森林公園」をめざし「森づくりながら」「やればできる」ということだけでも意味のある実験なのに、その余録としてさらに薪もちゃんと作るというのは絵のような多角的利用&付加価値といえそう。今シーズンはやや工夫を加え、刈り払いなど夏の仕事にスムーズに移行できるよう、前倒しで進めてきたところです。以下、簡単に4か月の足取りをまとめて報告します。(事務局)

新しいホームページのアドレス <http://hayashi-kokoro.com/commons00.html>

TOPIC 1

コモンズの里山運営の仕組みを模索



冒頭「コモンズの視線」で書いた実験ですが、結局わたしたちは何をしているのかを端的に表す言葉をやっと捻出しました。それが「コモンズの里山運営」です。

ここで工夫を凝らせば、ローカルな放置林を、土地所有者の意向にも沿いながらコミュニティごとの森林公園ができて、その活動資金もなんとか産み出せる。やりようによっては、もっと地域の人々を招き入れてコミュニティのコモンズ的利用が可能だ、という幅の広い運営を提案していけそうです。

TOPIC 2

直近の町内会とともに歩む森づくり



日々の活動は、その実験の大事な一齣一コマですが、山林に隣接する町内会の人々がほとんど山林に立ち入らない現状を勝手に反省して、近年は大島山林の利用

PRとNPOの活動紹介を心がけています。

昨年春の探鳥会と秋の健康講話を町内会と共同で開催し、今年はこのほかに「薪割り・薪積みイベント」を加えました。無心になって薪を割る作業と、静かに薪を積む単純作業が現代の日本人がどこかに忘れてきた心穏やかな手仕事だったという、わたしたちの発見があります。

5月6日、雨が心配される土曜日の午前10時、町内から赤ちゃんも含めて20人が参加し、NPOと総勢30人が作業。広場の縁に集めた丸太運びに始まり、伐って割って、女性陣は1軒の薪ストーブ暖房が1年使う量の薪を積みました。お昼は盛大にジンギスカンでバーベキューをして終了。さてBBQと森林散策はつながるか？ちなみに5月20日は2回目の探鳥会。講師は富永まゆみさんと、安平観光協会が共催です。

TOPIC 3

旭川・陣内さんのコミュニティ林業



TOPIC 1 および 2 とも大いに関係あることですが、昨年末のフォーラムで、旭川の小さなコミュニティの林100haでコモンズ的に林業展開をしている事例を発表した陣内さんの現場をコモンズ研究会として訪問しました。(写真は沢にせり出したステージ兼テラス)

寄りあい、助け合い、手間返しの近所づきあいの林業です。任せてくれた林の手入れで発生した材を、薪にして販売しまとまった収入を得ていました。

個人の所有権にこだわらず、まるで共有しているかのように自由に利用させ保育が進むという効果を得る。中間の生産物はお礼にいただく。重機やトラクター、それに手間の貸し借りでは一切お金が動かないので、いわゆる原価が見えませんがそこは相場で換算す

ると判明してきます。

個人か法人かの違いはあるものの、苫東のケースと類似するもので、その細やかな協働スタイルには共感と励まされるものがありました。選木や利用の方法に土地土地の保育スタイルがあることも再認識しました。

*昨年12月のフォーラム『人口減少時代の自然空間管理～その担い手と手法を考える～』は2017年4月号の「開発こうほう」でご覧いただけます。

http://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no645_closeup-1.pdf

TOPIC 4

薪の分譲を見直す



間伐にともなう薪生産がコンスタントに一定量うみ出される仕組みができました。ただ、①ロコミのニーズが依然多くそのほとんどは断っていること、②薪の規格と質は市販の薪と変わらないものになったこと、③市場価格と比較すると、ナラとその他広葉樹の「**込み薪**」で市価の**3分の1**であったこと（身内譲渡で開始したため）、この3つの理由から現場引取りの分譲単価を**今年積み上げた薪から見直す**こととしました。

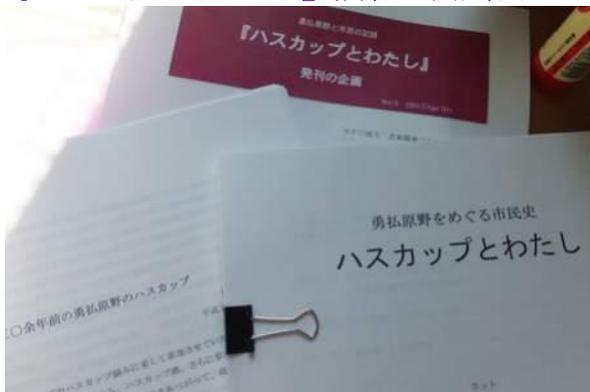
込み薪の新価格は、現場引取りで**㎡あたり15,000円、1棚2.7㎡で40,500円、1年分だと2棚で81,000円**になります。そんなに高いのなら要らない、もっと安いのがある、という方はそちらから買っていただくこととなります。いわば初めての顧客シャッフル。

これはもう一つのねらいがあって、それはメンバーの高齢化対策。これだと生産量が先細ってもなんとかやっています。万が一余剰が出れば簡単な運材機の購入に回します。

TOPIC 5

勇払原野の市民史（エッセー集・仮称）

『ハスカップとわたし』編集に本格着手



一昨年から寄稿受付と聞き取りを始めていた、ハスカップと市民の関わりを総合的に記録する表題の市民史が、素原稿段階ですでにA5版で200P以上集まったのを機会に、いよいよ出版に向けて編集に着手します。

その際に無理をしすぎない次のようなセオリーを立てました。

- ①文章、エッセー主体で写真、データにこだわらない
- ②苫東のハスカップ・サンクチュアリ（聖域）を核
- ③寄付・助成・協賛を自然体で募る
- ④出版が無理な場合、HPでの公表にとどめる

テーマは「**ハスカップ新時代**」が到来し、**関係者の世代交代**が進んでいること、ハスカップは勇払原野を囲む**市民のアイデンティティ**で文化であることを前面に出します。市民の実行委員会方式という当初の理想の旗はおろして、NPO苫東環境コモンズが主体で動こうと肚を決めつつあります。お協力をいただいていた皆様にはもうしばらくお待ちいただきます。

29年2月からの活動報告

各活動末尾の数字は参加者数

- 02/04 sat 大島山林の保育と材の運搬⑨7
- 02/11 sat " ⑩8
- 2/18 sat " ⑪7
- 2/25 sat 大島山林の保育と材の運搬⑫12
- 3/4 sat " ⑬10
- 3/11 sat " ⑭8
- 3/18 sat 大島山林で薪作り⑮8
- 3/19 sun 第17回理事会
- 3/22 wed 苫東会社と29年度の事業協議
- 3/25 sat 大島山林で薪づくり⑯10
- 4/01 sat 薪割り@遠浅・大島山林 ⑰11
- 4/08 sat 薪割り・薪積み⑱9
- 4/15 sat 薪割り ⑲9
- 4/23 sun フィールド点検 1
- 4/29 sat 薪割り&薪積み ⑳12
- 2016/12～ここまでの累計177人
- 5/3 wed ハスカップの新群落を踏査(遊水地、南端ゾーン) 1丸太の玉切り 1
- 5/6 sat 薪割り&薪積み㉑イベント with 遠浅町内会 ジングスカン 別途、江別と新札幌に薪届け 30

//////////編集後記//////////

■広葉樹間伐に自らチェーンソーを持って手を染めてざっと20年。やっと今年薪のある暮らしにシフトします。まず、使わないで残ったカラマツや余りそうな小屋の薪などを集めてみました。まあ、これならやれるかな、と目途が付いてから薪ストーブの検討に入る予定。リタイヤする2年後からは余裕の薪集めとなる見込み。

■当NPOと関係の深いコモンズ研究会は小磯先生を中心に今年遊水地のコモンズについて関わっていきます。予備調査として砂川遊水地と千歳川の遊水地6か所を個人的に見ました。苫東の遊水地コモンズとは履歴も背景も違います。今後、北村遊水地も見えていきます。コモンズという重層的な空間利用は脱・個人所有です。

■探鳥会の午後、静川の小屋によるとカケスがうるさく鳴いていた。見ると、そこにはデンとオオタカが。小屋の周りでよくタカを見かけてはいましたが、オオタカと画像で確信したのは初めてでした。小屋の周りには青大将のミドリちゃんファミリーがいますが、里山の守り神にこのオオタカも加えましょう。背中が青いので、愛称はアオちゃん。(草芥)

お問い合わせ

NPO法人苫東環境コモンズ 事務局

草芥 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765